

実績報告書

届出者	住所	東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower4階	氏名	株式会社モスフードサービス 代表取締役社長 中村 栄輔
特定事業者の主たる業種		76飲食店		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		フランチャイズチェーンによるハンバーガー専門店「モスバーガー」の全国展開・その他飲食事業など ※店舗のエネルギー量を時間計算する手段がありません。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 28 年 4 月 1 日～	平成 31 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(27)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	5,743 t-CO ₂	5,656 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,616 t-CO ₂	6,524 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量	0 t-CO ₂	

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (30 年度)	第1年度 (28 年度)	第2年度 (0 年度)	第3年度 (0 年度)
選択	削減率(排出量ベース)	0 %	0 %	0 %	0 %
	レ 削減率(原単位ベース)	3 %	-0.5 %	0 %	0 %
削減率(平準化補正ベース)		3 %	-0.6 %	0 %	0 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 (売上高)	
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	
店舗では売上高を、事務所では敷地面積を、自動車に関しては、自動車台数を、それぞれ原単位の分母として、重み付け合算により、分母を求めています。	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理

新規出店においては、外部サイン灯や店内照明のLED化、また厨房設備についても、高効率・省エネ型の機器類の導入を推進しています。日常の店舗活動のなかでも、グリーンカーテンの設置や設備機器類の維持管理などを通じ、チェーン全体の省エネルギー化を図っています。しかしながら売上が伸び悩んだ影響もあり(前年比98.2%)結果として原単位で0.5%の増加となりました。
--

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

2004年に㈱モスフードサービス及びモスバーガーチェーン全店舗においてISO14001認証を取得し、同時に「環境方針」を制定しました。2007年5月には、国内連結子会社への環境マネジメントシステム拡大に向け、「モスグループ環境方針」として改定し、2008年にISO14001認証取得範囲を国内連結子会社と関連店舗まで拡大しました。環境方針の「具現化」と全社・全店・全部門での積極的な活動を進めるため、中期環境行動計画を作成しています。
